

# みなみ野6丁目防災ニュース

2016年度 No.1 (9.11 発行)

みなみ野6丁目会自主防災隊

## 防災月間(9月)にあたって

現在も余震が続いている熊本大地震や、各地に甚大な被害をもたらしている相次ぐ台風など、今年も日本列島は様々な自然災害に見舞われています。幸い私たちが暮らしている八王子みなみ野では、これまで大きな自然災害は経験しておりませんが、南海トラフの巨大地震や首都直下地震が発生した場合には、経験したことの無い揺れに見舞われることは想像に難くありません。

地震による直接の被害は物理的エネルギーによるものですが、地震が原因となって発生する可能性が高いのが火災です。また、火災(火事)は地震によってだけでなく、失火や放火など人為的な原因でも発生するものであり、最も身近な災害として日頃から防止に心掛ける必要があります。

火事をいち早く消し止める(初期消火の)ために最も有効な道具である消火器を、いざという時に正しく使えるよう、この機会に見直してみたいはいかがでしょうか?

### 『消火器』の種類

タイプ	重量	有効期間	市価
業務用消火器(粉末/強化液)	4~6kg	概ね10年	4,000円~13,000円
住宅用消火器(主に強化液)	2~3kg	概ね5年	6,000円~10,000円
エアゾール式簡易消火具	5~600g	概ね3年	1,300円~2,000円



#### 《特徴》

- ① 業務用もご家庭で使用できます。(値段が手ごろです)
- ② 粉末タイプは、普通火災・油火災・電気火災のいずれにも対応しています。
- ③ 但し、室内で使うと粉末で視界が遮られたり、屋外では風向きに左右されます。
- ④ 強化液/エアゾールタイプは冷却効果があり「てんぷら油」などの火災に向いています。

※住宅での消火器設置は義務付けられていませんが、万一の場合に備えて設置しておきたいものです。既にお持ちの方は、「消火器の設置場所」「有効期限」「使い方」を確認しておきましょう。  
※玄関や廊下などに消火器を、台所に簡易消火具を設置されるのが望ましい形と思われます。

### 『消火器』の使い方



- ① 黄色い安全ピンを引き抜く
- ② ホースの先端を持って火元に向ける
- ③ レバーを強く握る

※屋外では風上から

※室内では退路を背にして

**12月4日(日)の防災訓練で体験・復習をしませんか!!**